

1. はじめに

1年間の出来事を漢字一文字で表す清水寺の行事で、昨年は「変」の漢字が選ばれました。毒入り餃子に代表される食品の不安、ナイフを振りかざし不特定多数を狙った殺人事件、唐突な総理辞任劇、原油価格の狂氣的な乱高下、元政府高官をターゲットにした不可解な犬の敵討ち殺人事件、そして震源地アメリカで発生したサブプライムローンの破綻に伴う世界的な金融不安による驚愕的な不況の到来等々、それらはまさしく「変」の一文字に符合します。

また、「災害は忘れないうちにやってくる」が現実味を帯びてくるようになりました。

一昨年の能登半島地震や中越沖地震、昨年は6月中旬に発生した岩手・宮城内陸地震の脅威、7月下旬に発生した局地的豪雨による浅野川氾濫被害を目の当たりにしたことは、記憶に新しいところであります。

この自然災害は別として、そのほかの出来事は全て人の心のありようによって引き起こされたものです。一言で表せば、自己、企業を問わず他人を省みない自己最優先とする風潮が、世界的規模で蔓延した背景に起因しているといえるでしょう。

私たちの町会が目標としている、支え合い・助け合いのある地域社会の構築を目指す活動は、「変」の漢字から脱却できる社会づくりの一步に繋がっていくことでしょう。

2. 町会の活動状況と課題について

町会の活動基本方針は、「支え合い・助け合いのある地域社会の構築」を理念として、昨年も皆様のご理解とご協力を得ながら精力的に諸活動と取り組んだ結果、次のとおり、著しい成果をあげることができました。

【1年間の主な活動成果】

2-1 町会業務の合理化促進

OA 機器類の整備

- (1) カラープリンターの取り替え（町会だよりのカラー化実現）
- (2) ディスクトップ型パソコン2台を取り替え（パソコン操作技術の普及・指導）
- (3) オーディオ機器（中古品寄贈）、マイクロホン（スタンド2品目を含む）整備

町費の一括納入（1年又は半年分）の定着

町会組織編成に部制度を導入

- (1) 公園、道路歩道等の環境整備（除草作業）が円滑化
- (2) レクリエーション行事が円滑化

町会関係各組織との連携強化

- ・町会関係各組織代表者連絡会を開催し、各種行事の企画から実行まで相互補完協力体制を構築

2-2 地域コミュニティの強化促進

町会に関する情報公開（町会ホームページ順次更新）

校下婦人会連絡員の増員：2名体制により校下婦人会との連携強化に寄与

7年ぶりに校下盆踊り大会の参加：校下各地域活動の活性化に寄与

8年ぶりにバレーボール大会参加：青年部活動の活性化に寄与

世代間交流行事（餅つき大会）の実施

- ・日本古来の餅つき文化を再現し、幼児からお年寄りまでの多世代が一同に会し楽しいまちづくりに寄与

社会体育大会の積極的参加促進

- ・町会対抗競技三種目制覇、近所の底力的な結束力の強化促進に寄与

(綱引き 5 連覇の偉業達成)

高齢者の社会交流促進

- ・悠々サロンの運営費補助、及び、人的支援を実施し、高齢者のみならず多世代間の交流促進に寄与

町会関係の横の組織との連携強化

- ・ネットサークルの組織強化を図り、各種行事の協力体制を構築
- ・各組織代表者に自主防災会の役割分担を依頼し組織強化に寄与
- ・悠々サロンボランティアスタッフ（以下、悠々クラブと称する）の協力により、盆踊り大会で赤飯製造販売、踊り手の参加協力を得て、大会の賑わい創出に寄与
- ・校下文化祭で町会活動をアピール
- ・町会活動状況を校下各町会等関係者にアピールし、注目を浴び高評価

2-3 交通安全、防犯対策の強化促進

ちさか地域安全パトロール隊の体制強化

- ・学童下校時の横断歩道 2 カ所 2 人体制の見守りを実施、交通安全と防犯に寄与
- ・ちゃりんこ・わんわんパトロール隊の体制強化
- ・役員、班長の未登録者の協力を得て、全登録者 93 名の組織に強化

迷惑駐車排除促進

- ・町会役員による巡回調査を実施し該当車にステッカーを貼付し注意喚起した結果、迷惑駐車を排除

千坂防犯委員会の役員担当者選出要請に基づき、当町会選出者を送り役員に就任

2-4 防災対策の強化促進

自主防災会の組織整備を図り、非常時の防災体制を確立

防災に関する講習会を開催し、非常時の心構えと行動について啓蒙活動を実施

2-5 行政等に対する環境改善要請

市道福久南・百坂線の道路改修

- ・金市町交差点段差補修、所司原商店付近舗装損傷補修により、振動騒音被害が軽減
- ・交通量増加に伴う沿道家屋の振動防止対策を町会連合会長と連名で市長に再要請
- ・金信森本支店付近交差点の信号機設置要望
- ・荒屋町町会、及び、町会連合会長と連名で東警察署長に要望書を提出
- ・担当者が現地調査を実施し、前向きに設置を検討中

マルハンに対する環境問題の改善要請

- ・防犯カメラの撮影範囲の問題改善と駐車場フェンスの目隠し取り付けを要請

2-6 町会の長期的展望に基づく諸問題の対応策を検討

第 1 回総合企画委員会を開催し、高齢化に伴う問題点の洗い出し、集会所改築後の運営方法、積立金の取り扱い、町会長選出方法等について意見交換を行い、早急な対応策を検討すべきことに意見集約

2-7 集会所改築プロジェクトの推進

設計業務委託契約により、詳細設計図書、予定価格算定書の作製業務が進捗

集会所底地所有者（勤住協）に土地の寄付に係る要望書を提出

改築補助金申請書提出受理（10 月 30 日）

第 6 回検討委員会で、総事業費、資金計画案、計画行程案等を審議し、2 月に協賛金募集を行うことを確認

【町会活動の課題】

町会活動に対する地域連帯意識の高揚

- (1) 地域社会は云うまでもなく、地域住民ひとり一人が相互に協力し合って成り立っています。班長や副会長は、自ら手を挙げてその任を担っている人はありません。

それぞれの班、それぞれのブロックで一定のルールに従って選出され人によって町会が運営されています。

しかし、希なケースとして、何年もの間、役員は絶対やれないと頑なに断り続けている方がいます。こうしたことから町会として、如何にして地域連帯感を高揚し意識を変えていただくかの努力が強く求められています。

(2) 公民館委員について

公民館委員は、地域のコミュニティ強化を目的として、公民館が主催する各種行事の支援を行うスタッフとして活動し地域に貢献されています。

このスタッフは各町会から2,3名が選出され、長期間委員を続けている方もおられますが、当町会は役員から1名、子ども会育成部から1名を選出して1年交代となっています。婦人部解散までは婦人部役員の中から1名選出することを慣例としていましたが、解散のため子ども会育成部に協力をお願いして、町会から2名の委員選出が維持されてきたところとなっています。

しかしながら、子ども会育成部から、子育て時代に当たるので委員遂行が困難な事情が生じて迷惑をかける場合があり、一般公募とすべきと申し入れがありました。町会として、この申し入れは十分に理解できることから、公民館活動に理解と意欲のある方の協力要請を図る必要があります。

高齢化対策

- ・高齢世帯の増加に伴う町会運営上の問題、社会交流促進対策、高齢者にやさしい地域づくりについて早急な対応策を講ずる必要がある

違反ごみ対策

- ・ごみの出し方ルールの徹底とマナー向上啓蒙運動が必要

集会所改築プロジェクトの推進

- ・協賛金の募集
- ・銀行融資の確保
- ・請負工事契約時のネゴ（価格交渉）
- ・仮移転先の確保
- 住民台帳の更新、医師・看護師・重機オペ等の有資格者調査登録

3. 活動方針

町会の活動状況と課題にかんがみ、今年度の活動は昨年度に引き続き、地域内のコミュニケーション強化を掲げて、安心・安全・ぬくもりのあるまちづくりを目標として、次のとおり活動を展開するものとします。

・コミュニティの強化と高齢化対策

地域が直面する問題を町会が的確に把握し、適切に対処するためには、班長と連絡を密に行う必要があるため、拡大役員会を年6回以上開催する

町会だよりの記事の充実と発行回数増

町会ホームページを、より魅力的な内容に充実させる

役員、班長の連絡は、可能な限り電子メールを活用する

地域の長期的懸案事項に対処するため、副会長経験者等を委員に委嘱して、総合企画委員会を年2回以上開催する

・町会の横の組織との連携強化、クラブ創設の誘導

全世代参加行事の継続実施

- ・餅つき大会（福寿会・青年部・子供会・悠々サロン・ネットサークル共催）

高齢者参加行事の実施

- ・子供とのふれあい事業（福寿会・子ども会・悠々サロン共催）

青年部の組織強化策の実施

- ・ 公民館主催の各種町会対抗競技大会に積極的な参加を呼びかけ、その機会に会員勧誘を行う

福寿会の組織拡充を支援し、地域社会貢献を要請

- ・ 現役時代のノウハウを生かせる活動で地域貢献を呼びかける
- ・ 支え合い、助け合いの地域づくりの協力を要請

情報化社会に適応できる地域づくり

- ・ 月2回のネットサークル定例会を継続、初心者パソコン講習会の実施、会員増加を図り防犯、防災・防犯活動の協力体制を強化

悠々サロンが実施する高齢者の社会交流促進を支援

- ・ 役員、班長等に積極的なボランティアスタッフ登録を依頼し、人的支援を強化
- ・ 活動補助金を交付

同好会サークルの結成を誘導

- ・ 集会所新館完成後の利用促進を図るため、各種クラブなどの創設を誘導

自主防災体制の整備

- ・ 自主防災会に対して運営費を計上
- ・ 役員交代に伴う非常時の速やかな対応が可能な組織づくり
- ・ 非常時に備えるため、住民台帳の整備と有資格者（医師・看護師・各種免許所持者等）を調査し登録する

自主防犯組織の強化

- ・ ちさか地域安全パトロール隊、ちゃりんこ・わんわんパトロール隊の連携とボランティア募集による組織強化

校下婦人会との連携強化

- ・ 地域連絡員の2名体制を維持する

・ 集会所改築プロジェクトの推進強化

計画スケジュールの全力推進

協賛金募集の実施

工事請負業者との工事費ネゴ（価格交渉）

補助金交付に係る行政との円滑な協議推進

銀行融資先の具体化

仮移転先の確保

検討委員会を年3回開催する

・ 地域活動のリーダー的人材の育成

町会に関連する各組織のリーダーと連絡会を随時開催し、町会行事の協力体制を築く

文化・芸能分野の優れた人材の掘り起こしと地域社会への貢献活動参加を要請する
公民館委員の一般公募の実現

男女共同参画社会の実現を目指すステップとして、女性リーダー組織に対する協力と支援を行う

・ まとめ

以上の施策のうち、今年度は特に荒屋会館建設に全力を傾注するとともに、地域のコミュニティ強化を促進させるため、「向こう三軒両隣の復活するまちづくり」に取り組みます。